

『第3回 聞法の集い』

2015年6月19日(金)東北教区相馬組勝縁寺にて「第3回 聞法の集い」が100名ほどの参拝者で満堂のうちに開催されました。東日本大震災により東北教区相馬組10寺中の7寺の住職・門信徒がそれぞれ仮設住宅等での避難生活となり、結果としてお聴聞の場所・機会を無くすこととなりました。大阪教区の有志住職を中心とした「がんばっぺ東北」が相馬組を支援する形でスタートしたのが「聞法の集い」で、今回で3回目となり、仏教壮年会の私もお縁があり参加させていただきました。

今回の新たな試みとして、始まる前に被災地支援をされている「震災支援を続ける会」のご協力のもと、参拝者に焼きそばを提供しました。大変おいしく好評で、余分の焼きそばも帰りの際にお配りしました。

「聞法の集い」は、勤行・法話・ミニライブの3部構成です。大阪教区の10数名による雅楽演奏、東日本大震災に遭われ命を亡くされた方を偲ぶ表白、みんなで重誓偈をお勤めしました。天岸浄圓先生のご法話では阿弥陀様のお慈悲をわかりやすくお話しいただきました。引き続き行われた、やなせななさんのミニライブでは、みんなを慰め勇気づける歌声に加えて、困難に遭われた方、被災された方々に寄り添うことの難しさを痛感しつつも、少しでも役に立ちたいとの思いを参加者がお互いに共有できたと思えました。声を出して一緒に歌う姿、法話やライブ中に涙を流す方々をお見受けするなか、実施できてよかった、ここに来てよかったと心底思え、感動できたことが私にとってこの上ない喜びとなりました。参拝者も大阪から参加した者もみんな有意義なひと時を過ごせたと推察いたしました。

聞法の集い前にボランティアのご協力でバス車中より福島県浜通り地域の被災地の今を説明いただきました。被災時のままの倒壊した住居や橋は津波の脅威を今でも教えてくれます。農家の方々が協力して瓦礫の撤去作業をされており、いまだ作物を作れない環境にあります。また、前日には相馬組の各お寺の現状について住職の方から本当にご苦労されている様子をお伝えいただきました。こちらからかける言葉も見つからない状況ですが、ニュース報道が非常に少ない現在では、現地に伺うことの重要性を思い知りました。

実は相馬組の方々と合流する前に大阪から参加したメンバーのみでサクランボ狩りに行き、おいしいサクランボを堪能していました。みんな初めての経験だったと思います。大阪のスーパーマーケットでは福島産の果物が店頭に並びにくい環境の中、サクランボや桃の注文で少しは貢献できたのかなと思います。

この度の聞法の集いでは、東北教区仏教壮年会連盟佐藤理事長にご紹介いただき、7名の壮年会会員に参加いただきました。前日の懇親会にも参加いただき親睦を深められたのも良い思い出となりました。



※法要前の焼きそば提供



※間法の集いででの勤行



※ご法話



※ミニライブ



※話し合い



※サクランボを満喫